

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
穂高広域施設組合	安曇野市、池田町、松川村、生坂村、筑北村、麻績村 及び穂高広域施設組合	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成26年度)	目標 (割合※1) (令和3年度)	実績 (割合※1) (令和3年度)	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	13,288 t	12,823 t(-3.5%)	14,554 t (9.5%)	-271.4%
	1 事業所当たりの排出量	2.59 t/事業所	2.50 t/事業所(-3.5%)	2.65 t/事業所 (2.3%)	-65.7%
	生活系 総排出量	23,733 t	22,840 t(-3.8%)	21,926 t (-7.6%)	200.0%
	1 人当たりの排出量	142 kg/人	142 kg/人(±0%)	154 kg/人 (8.5%)	8.5%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	37,021 t	35,663 t(-3.7%)	36,480 t (1.5%)	-40.5%
再生利用量	直接資源化量	5,613 t(15.2%)	4,989 t(14.0%)	3,485 t (9.6%)	460.0%
	総資源化量	5,956 t(16.1%)	5,671 t(15.9%)	3,902 t (10.7%)	270.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量) - MWh - GJ	- MWh - GJ	8,900 MWh 3,800 GJ	17,519 MWh 3,396 GJ	
最終処分量	埋立最終処分量	3,181 t (8.6%)	2,688 t(7.5%)	3,461 t(9.5%)	81.8%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績/目標※3
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	容器包装・過剰包装・レジ袋対策	構成市町村	<ul style="list-style-type: none"> 過剰包装・レジ袋の削減を目的とした対策、容器包装の使い捨ての削減を目的とした店頭での回収及び事業者が活用できるリサイクルルートの紹介システムを整備する。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> 構成市町村において、レジ袋削減に向けた取組を実施した。また、一部の構成市町村では容器包装の店頭回収やリサイクルルートの紹介などの取組を実施した。
			安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> 県と共同で、マイバッグ持参運動を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> マイバック持参運動に関するポスターの掲示やチラシの配布を行った。
池田町			<ul style="list-style-type: none"> 町オリジナルのマイバッグを作成し、全戸配布を実施する。 町内大手スーパーにて容器包装回収を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町オリジナルのマイバッグの作成と配布を行った。 町内大手スーパーにて容器包装の回収を実施した。 		
松川村			<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理実施計画に、レジ袋削減及び包装類の使用合理化を定めながら、住民への周知を図る。 大北地域マイバッグキャンペーン事業に協賛しながらレジ袋削減に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 大北地域マイバックキャンペーン事業に協賛し、さらに一般廃棄物処理実施計画においてもレジ袋削減等を位置づけ、住民への周知を図った。 		
生坂村			<ul style="list-style-type: none"> 村政懇談会において、レジ袋の削減に向けたマイバッグ持参運動の呼びかけや、村内業者への協力依頼等の対応を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 村政懇談会や村営施設において、マイバッグ持参運動の呼びかけを行った。 		
麻績村			<ul style="list-style-type: none"> レジ袋削減に向けて JA 松本の店舗が自主的に対策（レジ袋の有料化）を講じる。 JA 松本の店舗で白色トレイ等回収を実施する。 事業者から問合せがあれば随時リサイクルルートを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> JA 松本の店舗が自主的に対策（レジ袋の有料化）を実施した。 JA 松本の店舗で白色トレイ等回収を実施した。 事業者からの問合せに対して随時リサイクルルートの紹介をした。 		
	12	環境教育、普及啓発、助成	穂高広域/構成市町村	<ul style="list-style-type: none"> もったいない運動・教育の展開・意識の変革を目的とした施策を実施して意識の高揚に努める。また、リサイクルバザー等の支援整備や各種イベント時のごみ対策実施の検討を行う。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> 組合においては、環境教育の一環として行う施設見学への対応を行った。構成市町村においては、リサイクル推進学習やイベント等を通じた環境に対する意識向上、分別の促進に努めた。

		安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> 学校で行う河川清掃活動を通じて、ごみのポイ捨て禁止や適正な処理、資源化への推進を学ぶように協力する。 不用食器回収の準備、回収、運搬等を実行委員会と協力して実施する。 環境フェアにおいて、ごみの資源化を推進するブースを設置する。 環境学習会において、リサイクル工場の視察やリサイクル推進の学習を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校が実施する捨ケ堰クリーン大作戦へ協力した。 実行委員と協力し、不用食器の回収及びもったいない市を実施した。 環境フェアにおいて、ごみの資源化を推進するためのブースを出展した。 地域の環境部長によるリサイクル施設等を視察した。 環境学習会でのごみの減量化やリサイクルの学習を実施した。
		池田町	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興局との連携でマイバッグ持参運動、不用食器のリサイクル化、剪定枝のチップ化等を実施する。 不用食器のリサイクル化の際、もったいない市を同時開催し、まだ使用できる食器は持ち帰ることができるコーナーを設置する。 池田ふるさと祭りの際、「リサイクルステーション」としてごみ回収場を設置し、プラマークや紙マークのあるものに関しては参加者本人に洗浄・分別するように指導を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域振興局との連携によるマイバッグ持参運動、不用食器リサイクル化、剪定枝のチップ化を実施した。 もったいない市開催時に、使用できる食器を持ち帰ることのできるコーナーを設置した。 池田ふるさと祭りの際「リサイクルステーション」を設置し、ごみ回収場を設置して、参加者本人に洗浄・分別するように指導を行った。
		松川村	<ul style="list-style-type: none"> 地区の環境衛生部長及び小学生によるごみ処理施設の視察研修を実施する。 宴会時等での食べ残し減量（食べきり）を行政関係及び地区の理解・協力を得ながら推進する。 「村消費者の会」による「不用品（廃油・牛乳パック）の再利用教室」を開催する。 夏に開催される「ふるさと祭り」にて、ごみ回収テントを設営・分別を啓発する。 		<ul style="list-style-type: none"> 各地区環境衛生部長及び小学生によるごみ処理施設の研修見学を行った。 各部長会において食品ロスなど啓発をした。 村消費者の会において、廃油石鹸づくり等を行うニコニコ教室を実施した。 村主催ふるさと祭りにおいて、ごみ回収テントを設営し、PET ボトル等は洗浄してもらうなど分別意識向上を啓発した。
		生坂村	<ul style="list-style-type: none"> 村内の飲食店等の協力を得て 3010 運動を推進し、食品ロスの削減に努める。 子ども服や小中学校の運動着、制服及び学校用品等の使わなくなったものを再利用していけるよう子育て支援担当者として協力し“おさがり会”を開催する。 村が主催するイベントで出されるごみの減量、分別についてイベント主催担当課と具体的な検討（飲食物を提供する場合の容器の材料や種類、その分別方法等について）を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 村営施設で宴会の席のお品書きに、食品ロス削減に向けた 3010 運動の取組を図示して運動推進の協力をお願いした。 子育て支援担当課において年 2 回程、乳幼児と学童のおさがり会を実施し、使わなくなったものの再利用を推進した。 商品や飲食物の販売が伴うイベントにおいては、マイバックの持参や出たごみは持ち帰ってもらうように、あらかじめ来場者へ取組をお願いした。

			筑北村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場関係の会合等で、村職員が率先して余った料理の持ち帰りをする。 ・継続して、地域のイベント等においてごみを持ち帰ってもらうようにごみ袋を配布する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・村職員が率先して余った料理の持ち帰りを実施した。 ・ごみを持ち帰ってもらうためのごみ袋の配布を行った。
	13	有料化	穂高広域/構成市町村 安曇野市 松川村 生坂村 麻績村	<ul style="list-style-type: none"> ・住民・事業者に対し、引き続き処理料金を徴収するとともに、事業系ごみの処理手数料の見直しの検討を行う。 ・一般廃棄物処理計画の中でごみ処理費用の試算をし、市ホームページに掲載して公表する。 ・有料化について組合の構成市町村の共通課題として分析し、村議会、監査等で説明する。 ・ごみ処理費用とごみ処理量等についての分析を行い、周知することで、住民にごみ処理に関する関心を深めてもらう。 ・毎年、環境美化委員会を開催し、ごみ処理費用を公表する。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> ・生活系ごみについては指定袋制度によって、手数料を徴収した。 ・事業系ごみについては処理手数料の検討を組合の一般廃棄物処理基本計画（H28）に位置付けた。 ・安曇野市一般廃棄物処理基本計画（第2期）をホームページへ掲載した。 ・構成市町村の排出量を分析し予算編成時に村議会、監査等に説明している。 ・毎年継続した取組みは行えていないが、前年度と比較してごみ処理量がどの位増減しているかを広報誌に掲載し、ごみの減量にも関心を持っていただけるようお知らせした。 ・環境美化委員会を開催し、ごみ処理費用を公表した。
処理施設の整備に関するもの	1	不燃物処理施設整備	穂高広域	<ul style="list-style-type: none"> ・破碎・選別施設及びストックヤードを整備する。 	H30-R2	<ul style="list-style-type: none"> ・穂高クリーンセンターの不燃物処理施設を整備した。
	2	ごみ焼却施設整備（ごみ発電）	穂高広域	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー回収型廃棄物処理施設整備（高効率エネルギー回収）を整備する。 	H30-R2	<ul style="list-style-type: none"> ・穂高クリーンセンターのごみ焼却施設を整備した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	事業番号1と事業番号2の計画支援	穂高広域	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）穂高クリーンセンターの施設整備に係る調査（「地形測量・用地測量・地質調査」、「環境影響評価」、「見積仕様書・発注仕様書作成、技術提案書の評価検討」）を行う。 	H28-H29	<ul style="list-style-type: none"> ・穂高クリーンセンターの施設整備に係る計画支援業務を実施した。
その他	41	再生利用品の拡大事業	穂高広域/構成市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却処理の削減を目的とした剪定枝や生ごみの資源化の実施を行う。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> ・組合においては、構成市町村から剪定枝や生ごみの処理に関する相談や問合せへの体制を整えた。一部の構成市町村においては、生ごみの堆肥化やチップ化を実施し、焼却処理量の削減に取り組んだ。

		安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のリサイクルで剪定枝をチップにし、希望者に配布する。 ・生ごみ処理機への補助をし、堆肥化を推進する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各リサイクルセンターで受け入れた剪定枝をチップ化し希望者へ無料配布した。 ・生ごみ処理機器等購入補助金を交付し生ごみの減量や堆肥化を推進した。
		池田町	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回剪定枝のチップ化を実施する。 ・コンポスト及び生ごみ処理機の補助金制度を取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回のチップ化を実施した。 ・コンポスト及び生ごみ処理機の補助金制度の導入を取り入れた。
		松川村	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、給食センターから排出される生ごみの有機堆肥減量化（委託）を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・認定保育園(2園)、学校給食センター(小中学校5校)から排出される生ごみを有機堆肥化した。 ・ごみの減量化と自家処理の推進・再資源化を目的として生ごみ処理機等購入補助金を交付した。
		生坂村	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理を行うコンポストや生ごみ処理機への補助を行う。 ・生ごみ処理機についてはLCAの観点を踏まえ今後検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化と自家処理の推進を目的として、コンポスト化や生ごみ処理機の購入に対して補助金を交付した。
		麻績村	<ul style="list-style-type: none"> ・試験的に、一般家庭から出る生ごみを回収し、土壌改良材として資源化をする。 ・ごみ減量化再資源化補助事業として、コンポスト等購入に対し補助金を交付する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・試験的に、一般家庭から出る生ごみを回収し、土壌改良材として資源化した。 ・ごみ減量化再資源化補助事業として、コンポスト等購入に対し補助金を交付した。
42	最終処分	穂高広域	<ul style="list-style-type: none"> ・自区内処理の原則に基づき、最終処分場の確保に向けた検討を行う。 ・ホームページや議会、委員会等で処理に関する情報を公開し、取組を推進する。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰の資源化について、令和3年度より一部焼却灰のリサイクルを実施した。 ・継続して処理に関する情報の公開を実施した。
		安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、水質検査の結果等を市ホームページに掲載し、情報公開を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査の結果を各年度ホームページに掲載した。
		松川村	<ul style="list-style-type: none"> ・村議会、監査等で説明を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成時に村議会、監査等に説明した。
		麻績村	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化委員会を開催し、ごみ処理費用を公表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、環境美化委員会を開催し、ごみ処理費用を公表した。
43	圏域全体での不法投棄対策の実施	穂高広域/構成市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域全体での不法投棄対策に関する実施の検討を行う。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> ・組合においては、不法投棄物を受け入れる体制を整えた。構成市町村においては、不法投棄対策のための取組を実施した。
		安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共同し、松本地域での不法投棄対策を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・県の不法投棄監視連絡員を市から選出し定期的なパトロールを実施した。
		池田町	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄監視連絡員を9名任命し、担当区を定めパトロールを実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄監視連絡員による担当区を定め、パトロールを実施した。

44		松川村	<ul style="list-style-type: none"> 関係職員の随時的な巡視及び回収を行う。 不法投棄監視連絡員及びシルバー人材センター（委託）による、常習地域の定期的な巡視及び回収を行う。 地区環境衛生部長からの通報体制強化。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> 関係職員、不法投棄監視連絡員及びシルバー人材により山林や河川敷など巡視し不法投棄されたごみを回収した。 各地区環境衛生部長等から不法投棄されたごみの発見時に連絡を受ける体制を整えた。
		生坂村	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄常習場所への施設整備（防止網、看板等）補助の継続による、不法投棄対策を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> 近年は、施設整備の要望等がないため補助金の交付実績はないが、不法投棄対策のための補助金制度を継続した。
		筑北村	<ul style="list-style-type: none"> 警察情報を共有し、村内のパトロールを実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> 警察と情報共有を行い村内のパトロールを実施した。
		麻績村	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄パトロール等を実施し、対策を講じる。 		<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄パトロールを実施した。
	災害廃棄物処理対策の協定の推進及び周辺市町村、一部事務組合との連携の推進。	安曇野市	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野市地域防災計画に基づき、仮置場に対応する。 円滑な広域処理の体制の整備を検討する。 	H28～R2	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野市災害廃棄物処理計画を策定（平成 30 年 3 月策定）した。
		生坂村	<ul style="list-style-type: none"> 村内仮置場の設置や候補地について早急に検討し、関係機関（者）との協議を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理計画を作成し、検討する機会を設けた。
		穂高広域	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理対策の協定の推進及び周辺市町村、一部事務組合との連携を推進する。 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、組合が主体となり構成市町村における災害廃棄物処理計画を策定することにより、組合と構成市町村の連携の推進について実施した。また、筑北村では、消防相互応援協定、地域活性化包括連携協定などによる連携を実施した。

3 目標の達成状況に関する評価

目標に対する個別の達成状況は、以下のとおりである。

【排出量】

(1) 事業系総排出量

事業系総排出量は、目標 12,823 t に対して令和 3 年度実績で 14,554 t となり、目標を達成できなかった。

1 事業所当たりの排出量は、目標 2.50 t/事業所に対して 2.65 t/事業所となり、目標を達成できなかった。

(2) 生活系総排出量

生活系総排出量は、目標 22,840 t に対して令和 3 年度実績で 21,926 t となり、目標を達成できた。

1 人当たりの排出量は、目標 142 kg/人に対して 152 kg/人となり、目標を達成できなかった。

(3) 事業系生活系総排出量合計は、目標 35,663 t に対して令和 3 年度実績において 36,480 t となり、目標を達成できなかった。

【再生利用量】

(1) 直接資源化量は、目標 4,989 t に対して令和 3 年度実績では 3,485 t となり、目標を達成できなかった。

(2)総資源化量は、目標 5,671 t に対して令和 3 年度実績では 3,902 t となり、目標を達成できなかった。

【エネルギー回収量】

エネルギー回収量は、目標 8,900 MWh に対して令和 3 年度実績では 17,519 MWh となり、目標を達成できた。

【最終処分量】

最終処分量は、目標 2,688t に対して令和 3 年度実績では 3,461 t となり、目標を達成できなかった。

(都道府県知事の所見)

生活系ごみの総排出量について、目標を達成している。これは、構成市町村等の適正処理・4R（3R+リプレイス）に係る各施策等の効果によるものと考えられる。

県としては、地域の4Rを推進するため、必要に応じて市町村等に対して技術的助言を行うなど、今後とも市町村等と連携を図りながら県内廃棄物の発生抑制や適正処理に努めてまいりたい。